

## Next Stage

商品を開発する際に使う真空装置を大学や企業向けに製造している誠南工業。真空装置は顧客の作りたい商品に合わせ、一つ一つ設計、製作する。亀井龍一郎社長は技術者の育成を今後の課題にあげつつ、顧客の需要にマッチした装置の提供が使命だと語った。

——真空装置は、どのように使われるものか

「普通の環境とは違う、特殊な環境を真空装置の中でつくる。真空状態というと宇宙空間に近いイメージがある。大気中には不純物がたくさんあるが、真空装置の中はほとんど不純物がない」

——どのような製品の製造に必要とされるのか

「われわれが提供するのは、真空装置の中でも膜を作る成膜装置が多い。この成膜装置を使って、自動車のガラスを強化す



るための表面のコーティング膜やポテトチップスの菓子袋に張られたアルミの薄い膜を作っている」

——膜に求められる機能や性能にはどんなものがあるのか

「ポテトチップスの袋は空気が漏れてしまうと、中に入っている菓子の鮮度が落ちてしまう。それを防ぐため空気が通過

# 真空装置製作 技術者育成が課題

誠南工業 亀井 龍一郎社長

かめい・りゅういちろう  
大阪工業大学工学部機械工学科卒。1988年誠南工業入社。さまざまな成膜装置の設計開発に携わる。2007年から現職。48歳。大阪府出身。

間の技術に頼るところが大きいので、技術者の育成が課題だ。一人前になるまでには5年以上かかるため、素質のある人を見極めて育てていく」

——業界を取り巻く環境に変化はあるのか

「昔はコストが重視されなかった。良いものを作るためには無制限にコストを費やしてもよいといった感じがあった。しかし今は人件費が高くなり、性能が良いものよりも、多少劣って

も安いものが売れる時代になつた」

——現在の主な顧客層は「大学などの研究機関が多い。企業は新商品の研究開発予算が付きにくくなってしまい、受注は減っている。顧客がどんな新商品を作りたいかを、いち早くキャッチし、顧客がイメージしたものにできるだけ近いものを形にしていくことがわれわれの仕事だ」

(中山玲子)

## ■会社概要

- ▷本社=大阪市住之江区北加賀屋4-3-24
- ▷設立=1960年
- ▷資本金=2400万円
- ▷従業員=25人
- ▷事業概要=真空装置の設計製作